

科目名	応用数学 I		英文表記	Applied Mathematics		2016年3月25日	
科目コード	4102						
教員名: 武村 史朗 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
機械システム工学科			4年	必	学修	2単位	講義
科目目標 【MCC目標】	物理的なイメージと関連付けながらフーリエ解析やラプラス変換などの基礎的な能力を身につける。 【V-A-8】計測制御: 制御系分野は、制御系の数学的な表現方法ができる。						
総合評価	定期試験(中間・期末)の平均の70%+演習課題30%の合計(100点)が60点以上を合格とする。						
科目達成目標とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	70%	① フーリエ解析やラプラス変換が重要な役割を果たしていることを理解する。(A-2)	正しく説明できるか定期試験で評価する。	フーリエ解析やラプラス変換を中心にそれらの基礎を理解し説明することができる。さらに、実問題に対して応用することができる。	フーリエ解析やラプラス変換を中心にそれらの基礎を理解して説明することができる。	フーリエ解析やラプラス変換を中心にそれらの基礎を理解することができる。	
30%	② 演習問題を解くことを通して、自発的・継続的な学習を身につける。(B-3)	正しく解けるか講義での演習課題で評価する。	これまでに学習した他の科目と関連付けながら問題を解くことを通して、自発的・継続的な学習を身につけることができる。	教科書や資料に従って問題を解くことを通して、自発的・継続的な学習を身につけることができる。	教科書や資料を見ながら問題を解くことを通して、自発的・継続的な学習を身につけることができる。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	
	◎				JABEEプログラム教育目標	A-2	
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		70	0	0	30	100	
基礎的理解	①	70				70	
応用力(実践・専門・融合)						0	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学修意欲	②				30	30	
授業概要、方針、履修上の注意	フーリエ解析とラプラス変換を中心とした授業を行う。 ・3年生までに学んだ基礎的事項を確認しつつ、演習問題を解説する。 ・授業時間内に適宜問題演習を行い、問題解法能力を養う。 答案作成能力を養うため、適宜演習問題をレポートとして課す。						
教科書・教材	工学部で学ぶ数学, 千葉逸人著, プレアデス出版						

授 業 計 画

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習) 内容	セルフ チェック
1	ガイダンス	2	授業の進め方および評価方法について説明する。		
2	フーリエ解析1	2	周期関数とフーリエ解析の定義と概念について学ぶ。	先週の講義内容	
3	フーリエ解析2	2	フーリエ級数やフーリエ変換、逆フーリエ変換について学ぶ。	先週の講義内容	
4	フーリエ解析3	2	複素フーリエ級数展開の定義とその概念について学ぶ。	先週の講義内容	
5	フーリエ解析の応用	2	実例をとりあげ、フーリエ変換の応用例について学ぶ。	先週の講義内容	
6	畳込積分1	2	線形システムにおける畳込積分の概念と意味を学ぶ。	先週の講義内容	
7	畳込積分2	2	畳込積分に関する例を通してその性質を学ぶ。	先週の講義内容	
8	中間	2	中間試験により理解度を評価する。		
9	ラプラス変換1	2	ラプラス変換の定義とその概念を学ぶ。 【V-A-8:4-1】基本的な関数のラプラス変換と逆ラプラス変換を求めることができる。		
10	ラプラス変換2	2	典型的な関数を取り上げ、ラプラス変換の演習を行う。 【V-A-8:4-1】基本的な関数のラプラス変換と逆ラプラス変換を求めることができる。	先週の講義内容	
11	ラプラス変換の応用1	2	実例をとりあげ、ラプラス変換の応用例を学ぶ。 【V-A-8:4-2】ラプラス変換と逆ラプラス変換を用いて微分方程式を解くことができる。	先週の講義内容	
12	ラプラス変換の応用2	2	実例をとりあげ、ラプラス変換の応用例を学ぶ。 【V-A-8:4-2】ラプラス変換と逆ラプラス変換を用いて微分方程式を解くことができる。	先週の講義内容	
13	ラプラス変換の応用3	2	実例をとりあげ、ラプラス変換の応用例を学ぶ。	先週の講義内容	
14	複素平面	2	複素数、複素平面について学ぶ	先週の講義内容	
15	まとめ	2	これまでの内容を総括する。	先週の講義内容	
期末	期末試験	[2]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末					
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	レポート(その週の講義内容に沿った内容について演習課題を課す)			各1時間×15回	
②					
③					
備考欄					
(JABEE関連共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで定める。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目は機械システム工学科科目関連図一覧表を参照のこと。 (モデルコアカリキュラム) ・ 対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)